

2009 年度 アートマイル作品展示 活動報告

～展示は作品をとおしたコミュニケーション～

ジャパンアートマイル(JAM)では、子どもたちが絵に込めたメッセージを多くの人に伝える目的で展示活動を積極的に行っている。2009 年度は壁画展を国内で 10 回開催した。中でも兵庫県立美術館で開催した壁画展と JICA の全国各地の施設で開催した壁画展では作品をとおして多くの人に国際交流壁画共同制作の意義を伝えることができた。海外ではモロッコとイタリアの会議で展示を行った。

1 2009 年度アートマイル壁画展の開催状況

NO	開催期間	開催場所	展示テーマ
1	6/1-7/12	JICA 中部	日本の子どもたちと発展途上国の子どもたちとの共同壁画
2	7/14-7/30	JICA 大阪	フィジーとシリアの子どもたちとの絵を通した異文化交流
3	8/18-8/30	JICA 地球ひろば	日本の子どもたちが世界の子どもたちと出会ったアートマイル
4	10/1-12/20	兵庫県立美術館	第1回 世界の子どもをつなぐアートマイル壁画展
5	10/11-10/12	長久手町文化の家	難民映画祭とアートマイル壁画展
6	10/21-11/4	JICA 中部	シリアのパレスチナ難民の子どもたちとのアートマイル
7	11/15	豊橋こども未来館	平和・交流・共生
8	12/22-1/29	兵庫県立美術館	第2回 世界の子どもをつなぐアートマイル壁画展
9	12/22-2/28	JICA 中部	アジアから世界の調和と平和のメッセージ
10	2/21-3/28	兵庫県立美術館	第3回 世界の子どもをつなぐアートマイル壁画展

2 兵庫県立美術館での展示

「世界の子どもをつなぐアートマイル壁画展」
～In Hyogo Prefectural Museum of Art～ は、兵庫県立美術館との共催事業として、兵庫県教育委員会、(財)兵庫県国際交流協会、神戸新聞社、サンテレビジョンの後援を受けて開催した。



兵庫県立美術館は、安藤忠雄氏が設計した美術館として有名であるだけでなく、質の高い美術展示を誇り、国際交流の拠点として「人間のこころの豊かさ」を目指す美術館としても知られている。アートマイル壁画展は5ヶ月間の展示期間中に作品を3回入れ替えて展示した。展示期間中の入館者は 685,000 人であった。兵庫県立美術館での展示は、子どもたちの交流学習の成果をアートとして多くの人に鑑賞してもらえただけでなく、活動を広く人々に知ってもらう好機となった。



展示作品は毎回 12 点、計 36 点を展示した。展示の様子はサンテレビで放送、神戸新聞に掲載された。



3 JICA での展示

東京・名古屋・大阪の JICA 施設でアートマイル壁画展を開催した。作品は JICA の協力を得て開発途上国の子どもたちと共同制作した作品を中心に展示した。作品だけでなく、日本の子どもたちが世界の様々な国の子どもたちと交流しながら相互理解を深め、壁画を共同制作する様子をパネルにまとめて展示した。また、会場ではビデオやスライドショーで交流の様子を紹介した。

<JICA 中部 なごや地球ひろば (6/1-7/12)>
新生 JICA 中部のオープニングイベントとして開催



(パネル展示)

<JICA 大阪 (7/14-7/30)>



<JICA 広尾地球ひろば (8/18-8/30)>



(スクリーンでビデオ放映)

4 海外での展示

(1) モロッコ iEARN 国際会議

7月19日～25日にモロッコで開催された iEARN 国際会議でアートマイル国際交流壁画共同制作の実践発表と作品展示を行った。



(2) 日伊アートマイルミーティング

7月25日～28日にイタリアで開催された日伊アートマイルミーティングでイタリアとの共同制作壁画を展示。



5 成果

JAMは「展示は作品をとおしたコミュニケーション」と考えており、子どもたちが作品に込めたメッセージを多くの人に伝える目的で展示活動を行っている。今年は兵庫県立美術館で長期にわたる展示が実現し、多くの来館者に作品を見てもらえたことは大きな成果であった。また、JICA とはこれまで開発途上国との交流で連携してきたが、交流の成果である作品を東京・名古屋・大阪の JICA 施設で展示できたことは大きな意味があった。さらに、JICA 中部では展示期間中にセミナーを開催し、国際交流に関心のある人々にアートマイル交流の意義を伝えることができた。今後の海外での交流の広がりにつながることを期待できる。